

「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会 in 大分市

テーマ「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上  
不登校児童生徒への組織的な対応について



NO.483 2021年11月 大分市立王子中学校

個別最適学習

個人で考える。友達と協力する。  
困っている友達に教える。教室  
では自分のあった学びができる。

王子中学校への参観



学力、体力において成果をだしている本校は、不登校についても組織的に対応をしています。渚野校長先生からは、学校に来ていない生徒や教室に入れない生徒への対応や、SCやSSW等との連携等について説明がありました。「楽しい授業」を実践することこそ、不登校の未然防止であることを強調されていました。

次に、全学級の授業を参観させて頂き、さらに別室

における指導・相談を行う、スクールライフサポーターの実践の様子を知ることができました。

意見交換では、県教育委員さんからも、生徒の様子や学校の取組を見て安心したという意見が出されました。



鈴木委員 岩崎委員 岡本教育長 高橋委員 岩武委員

意見交換会 大分市西部公民館



大分市教育委員会より、佐藤光好教育長、古城和敬教育長職務代理者、上杉美穂子教育委員、古城一教育委員の皆様が参加されました。

1 本市における不登校の状況

不登校児童生徒に対する支援や新たな不登校を抑制するための主な取組

- 「大分っ子不登校対応マニュアル」に基づく取組
  - ・学級担任を中心に、日常の観察等による対応
  - ・欠席日数による不登校初期対応
- いじめ・不登校等に効果的とされる「hyper-QU」を実施
  - ・分析結果を生かした取組の推進
  - ・活用についての教職員研修
- 教室以外の別室（相談室等）における指導・相談
  - ・スクールライフサポーターを中学校6校と義務教育学校に1名ずつ配置し、学校には登校できるが教室に行けない児童生徒に対する支援・援助および保護者の相談等に対応



な要因や、今後の組織的な対応、行政への願いをホワイトボードでキーワードを示しながら説明してくださいました。参加された皆様からは、「待つこと、信じること」「地域と共に」「小・中・高の連携」「SCやSSW等の増員」等、前向きな意見が出され、これからも、県と大分市の連携を深めながら、協働的に取り組むことを確認しました。

また、学校の実情や組織的な取組については、王子中学校渚野暢浩校長、植田東中学校工藤康志校長、植田中学校山本豊校長、春日町小学校佐藤さゆり校長、敷戸小学校田中和久校長が、不登校の主な

